

■ 市民広報特派員として…

「広報なばり」の記事を企画・取材・編集してください。

**募集対象** 市内で市民公益活動を行っている団体、市内在住・在学・在勤の人

**募集記事** 地域の課題(※)を取り上げた記事(1～2ページ程度)

※「地域の課題」とは、総合計画で取り上げられている施策にかかわるもので、人権・健康福祉・高齢者福祉・障害者福祉・子育て支援・環境保全・省エネ・ごみの減量・防災・防犯・住環境・教育・文化など多岐にわたります。

☎ 広報対話室 ☎ 63-7402



応募方法・任期など

**募集期間** 2月27日～3月23日

**応募方法** 市役所2階広報対話室で配布する応募用紙に、記事の企画提案内容など必要事項を書いて、ご応募ください。※ 応募用紙は、市ホームページからも出力可。ファクスでも送付します。

**定員** 3人・団体程度 ※2つ以上の応募は不可

**任期** 委嘱の日(4月)から平成25年3月31日まで

**謝礼** 10,000円 ◎詳しくは市ホームページをご覧ください。

選考基準(抜粋)

**趣旨** 提案や提言を含め、名張市総合計画「理想郷プラン」を進めていくために効果的な内容であるか。

**独自性** 一般論でなく、市民広報特派員となる個人・団体の属性(専門性、経験、特技など)を生かした独自の視点による企画であるか。

**地域性** 全国的な課題であっても、これを地域(名張)の問題に引き寄せて訴える内容であるか。また、地域を限定しすぎた課題でないか。

**公益性** 名張市民の利益になるか。特定の個人・団体・地域の利益が主となる記事でないか。

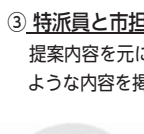
記事作成の流れ



① **記事の企画を考えて応募してください**

地域の課題を取り上げ、選考基準に沿った記事を考えてください。市への提言を含むような内容も可能です。

② **市民広報特派員を市が選考し、委嘱します**

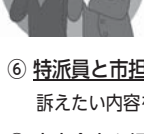


③ **特派員と市担当者による企画の打ち合わせ**

提案内容を元に、市民に何を訴えていくべきか、どのような内容を掲載していくべきかを打ち合わせます。

④ **特派員による取材・原稿の作成**

全てを依頼してしまうというのではなく、市の広報担当者と一緒に記事をつくっていくイメージです。



⑤ **市担当者による校正(紙面レイアウト)**

⑥ **特派員と市担当者による掲載記事の打ち合わせ**

訴えたい内容を効果的に伝えられるかを記事レイアウトを元に検討します。

⑦ **庁内合意を経て、広報紙を発行します**

■ 広報なばりメールサポーターとして…

「広報なばり」の記事を評価してください。

「広報なばり」が、どのように皆さんに読まれているのか、また、どんな記事が必要とされているのかを知るために、市では、電子メールを使った「広報なばり」のモニターを募集します。

登録者には、電子メールを活用し、「広報なばり」に関するアンケートを配信します。アンケートは、記事が分かりやすかったか、分かりにくかったかーなど簡単なものが中心です。



「広報なばりメールサポーター」イメージキャラクター  
\*メルサポ大使。

**募集対象** 市内在住で中学生以上の人 ※市議会議員、市職員を除く

☎ 広報対話室 ☎ 63-7402

登録方法

① パソコンや携帯電話で市ホームページをご覧いただき、注意事項を確認後、**5月31日までに**、市ホームページに記載の登録用メールアドレスに電子メールを送ってください。



※ 携帯電話端末で携帯版ホームページのURLが読み取れます

※ 登録やアンケートへの回答は電子メールとインターネット接続環境が必要です(携帯電話端末も可)。また、通信にかかる費用はご負担ください。

② 登録フォームのURLを記載した電子メールが自動返信されますので、接続いただき、必要事項を入力してください。

◆ 以上で登録は完了です。

**定員は100人です。定員に達すると、登録受付を終了します。**

謝礼

**1,000円分の図書券**

アンケートに半数以上お答えいただいた皆さんにお渡しします。

◆ アンケートは広報なばり4-1号以降、発行号ごとの意見聴取や記事作成前の意識調査など、50回程度。任期は、平成25年3月末日となります。

平成23年度メールサポーターの皆さんの声

- ▼ 市に対する関心が深まり、郷土に対する理解もできるようになりました。
- ▼ おもしろみにかけるので、もう少しずいした感じでも良いなと感じました。
- ▼ 自分の意見が広報紙に反映されることがうれしかった。
- ▼ サポーター制度のおかげで随分広報紙に目を向けるようになりました。
- ▼ 書き手側の一方通行にならないという点でアンケート制度はいいと思う。
- ▼ 同じサポーターの皆さんの意見を見て、考えさせられる事がありました。

「広報なばり」が県広報コンクールで2年連続特選!

自助・共助・公助をキーワードに災害への備えなどを特集した「広報なばり」10-3号が、三重県広報コンクールで2年連続となる特選に選ばれました。

評価されたのは「イラストや写真を活用して、分かりやすく、かつパッと見て読んでみたい気持ちにさせる工夫がされている」などといった点でした。

今後も市民の皆さんのご協力をいただきながら「広報なばり」を編集していく中で、皆さんに愛され、市政と暮らしをしっかりと結び情報紙を目指します。



「広報なばり」各号へのアンケート結果は市ホームページで公開中です。